

七戸中央公民館

～2階に展示コーナー～

◎出土品の一部は、「七戸中央公民館」2階に展示しています。

【住 所】七戸町字森ノ上210

【入 館 料】無料

【見学時間】9:00～17:00

【休 館 日】祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

【お問い合わせ】

七戸町字七戸31-2

七戸町教育委員会世界遺産対策室

電話：0176-58-5530

二ツ森貝塚の概要

◆今から約5,500年前から約4,000年までの1,500年にわたって営まれた貝塚を伴う集落遺跡です。遺跡の面積は、現在約35万㎡あり、東京ドーム(約4.6万㎡)の約8倍になります。県内の貝塚では最大級の大きさを誇ります。

◆貝塚からは貝類、ほ乳類、魚類、鳥類などの動物の骨やその加工品など、当時の人々の食べ物や生業や、周囲の環境を知る貴重な手がかりが多く見つかっています。

◆1991年(平成3年3月)、現在史跡公園がある東地区が県史跡に指定され、1998年(平成10年1月)、国史跡に指定されました。また、2015年(平成27年3月・10月)に西地区が追加指定になりました。

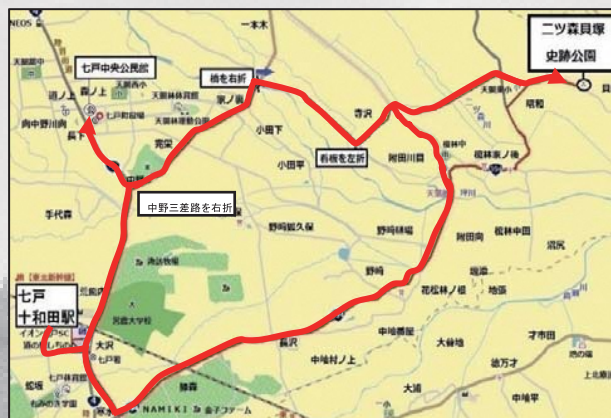
二ツ森貝塚史跡公園

【所在地】

〒039-2751

青森県上北郡七戸町字貝塚家ノ前43

案 内 図



《交通手段》

☆JR東北新幹線をご利用の場合

・八戸駅～七戸十和田駅(15分程度)

・新青森駅～七戸十和田駅(15分程度)

・七戸十和田駅～二ツ森貝塚

国道4号線を野辺地方面へ直進し、「中野三差路」の信号を右折し、県道173号線沿いを進む

→橋を渡ったら右折し、1.5km程進み、貝塚の案内看板がある道を左折

七戸町教育委員会 世界遺産対策室

Shichinohe Town Board Of Education
World Heritage Office



～ようこそ 七戸町へ～



国指定史跡

二ツ森貝塚

Historic site Futatsumori Shell Midden

時 代：縄文時代前期～縄文時代中期

種 類：集落跡・貝塚

所 在 地：青森県上北郡七戸町字貝塚家ノ前43

立 地：小川原湖に注ぐ赤川に面した台地上にある

史跡面積：約11.8ha

全体面積：約35.0ha

◆出土品について◆

⑩ 西第Ⅱ号貝塚

中期中葉から中期後半の貝塚で、厚さは約1.2mである。貝の種類は、ヤマトシジミやハマグリ、アサリ、アカニシなどが確認されている。



⑨ 貯蔵穴

竪穴建物跡の近くから食べ物などを保存する貯蔵穴が検出された。深さ約2mで、断面はフラスコ状である。



⑧ 竪穴建物跡

縄文時代前期後半のもので、この住居跡は約30畳あり、柱穴などが検出されている。



⑦ 鹿角製櫛

(青森県重宝)

鹿の角で作った飾り櫛で、縄文時代前期末葉（約5千年前）のものと考えられる。当時の人々の精神性や、骨角製品の製作技術の高さをうかがわせるものとして重要である。



① 榎林式土器

人面付きの土器が西地区の捨場から出土。大きな突起は人面を表したといわれている。



② 北捨場

不要となった道具類の廃棄場所といわれている。土器や、石器などが多量に出土した。



③ 土器片囲炉

土器の破片を使って炉が作られたもの。ニツ森貝塚のものは10～20cmの土器片を3～4重に並べて作られている。



④ イヌの埋葬

貯蔵穴の底からメスの幼犬の骨が発見された。人間によって丁寧に埋葬されたと考えられている。



⑥ 東第Ⅱ号貝塚

前期中葉～中期後葉の貝塚で、厚さは約1.5mである。貝の種類は、ヤマトシジミが主体をしめている。



⑤ 墓と道路

東西にのびる道路状遺構に沿って、土坑が南北の向きで規則的に配置されている。

